

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 水 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	経済と経営 (地域経済の理論と現実) Economics and Business (Regional Economics)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 山口 純哉 / Eメールアドレス: <a href="mailto:junya-y@nagasaki-u.ac.jp">junya-y@nagasaki-u.ac.jp</a> / 研究室: 経済学部東南アジア研究所 215 号室 / オフィスアワー: <a href="mailto:junya-y@nagasaki-u.ac.jp">junya-y@nagasaki-u.ac.jp</a> にて質問を受け付ける。			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 地域経済にかかる理論を理解するとともに、長崎県経済の現状と課題を把握する。  授業方法: 地域経済にかかる理論を概説するとともに、担当教員のフィールドワークの成果や統計資料を用いて、理論と現実との往復を繰り返す。なお、現実のトピックについては、受講生とのディスカッションも採り入れる。  授業到達目標: 地域経済にかかる事象を、理論というメガネを通して理解し考えることが出来る能力を身につける。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 現実の地域社会で発生した経済的なトピックに関係する理論を紹介しながら、事象の理解を促す。なお、本講義内容の理解を進めるためにも、各種新聞や雑誌の地域経済欄に毎日目を通すことが望ましい。  第1回 「講義ガイダンス」講義の目的やデザイン等について説明します。 第2回 「地域経済ってなに？」地域経済の「地域」とは何なのか？地理学と経済学の視点から接近します。 第3回 「地域経済の現状1」長崎県経済を例に、所得にかかる地域経済の見方を概説します。 第4回 「地域経済の現状2」長崎県経済を例に、雇用にかかる地域経済の見方を概説します。 第5回 「地域経済の仕組み」長崎県経済を例に、地域経済における所得や雇用の決定にかかる仕組み概説します。 第6回 「地域政策の生成」イギリス等諸外国における地域政策の生成について概説します。 第7回 「日本における地域政策1」全国総合開発計画等、中央政府による地域政策について概説します。 第8回 「日本における地域政策2」長崎県長期総合計画等、地方政府による地域政策について概説します。 第9回 「中間まとめ」講義前半を振り返り、講義のポイントを整理します。 第10回 「レポート課題提示」レポート課題を提示するとともに、レポートの書き方について説明します。 第11回 「地域経済と市民活動」地域経済と NPO 法人等の市民活動との関係について概説します。 第12回 「地域経済と観光」観光都市長崎を例に、地域経済と観光との関係について概説します。 第13回 「地域経済とまちづくり」長崎のまちづくりを例に、地域経済とまちづくりとの関係について概説します。 第14回 「地域経済と文化」長崎県美術館など文化施設と地域経済との関係について概説します。 第15回 「まとめ」講義全体を振り返り、講義のポイントを整理します。			
キーワード	なし		
教科書・教材・参考書	教員の作成した資料を用いるため特に指定しない。		
成績評価の方法・基準等	方法: 期末レポート 基準: 本講義で概説した地域経済の理論を用いて、受講生本人が興味を持った地域経済にかかる現実の事象を理解・検討できたか否かを基準とする。		
受講要件(履修条件)	なし		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	なし		
備考(準備学習等)	日々新聞等を賑わす地域経済にかかる事象に注意を払うこと。		